

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



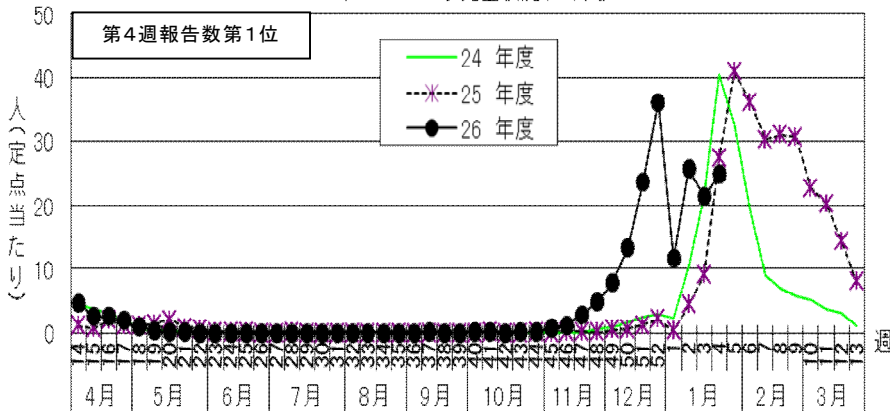
KAWASAKI CITY

平成27年1月19日（月）～平成27年1月25日（日）【第4週】の感染症発生状況

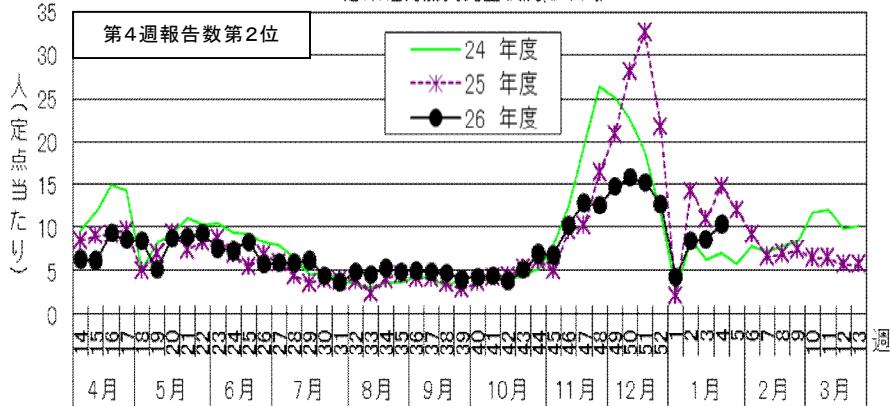
第4週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は24.89人と前週（21.41人）から増加しましたが、例年とほぼ同じレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は10.33人と前週（8.64人）から増加しましたが、例年とほぼ同じレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.36人と前週（1.70人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。



インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



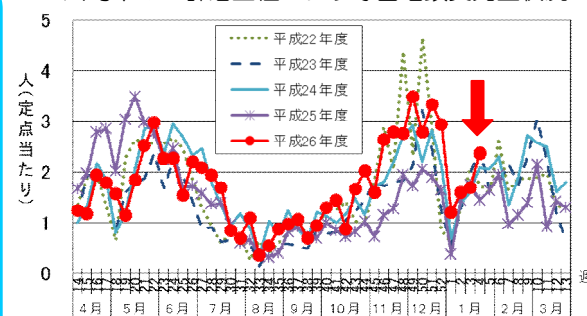
ご存知ですか？～A群溶血性レンサ球菌咽頭炎～

第4週におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数が2.36人となり、例年を上回る報告数となりました。通常、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は春から初夏（5～6月）や冬季（11～12月）にピークをむかえますが、1～4月も報告数が多くなりますので、引き続き注意が必要です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは？

- **潜伏期間**：2～5日間
- **症状**：突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛で発症。体や手足に小さくて紅い点状の発疹が出たり、舌がイチゴのように赤くなる（莓舌）ことがある。
- **感染経路**：感染者の唾液や鼻水への接触または飛沫（咳やくしゃみ等）で感染。特に小児（5～15歳）に多い。
- **治療**
抗菌薬が効果的であり、処方された薬は主治医の指示どおりしっかりと服用することが重要である。

川崎市のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況



薬の服用を途中でやめたり、治療をせずにいると、合併症として急性糸球体腎炎やリウマチ熱を起こすことがあります。医療機関の指示に従い治療を受けましょう。